

タイトル：『ファニーたい焼きトム39
バニラアイス』

第一幕：ファニーな挑戦

シーン1：奇想天外な新メニュー

（舞台：『たい焼きトム』の店内。陽気な音楽が流れる中、トムが大きなホワイトボードに新メニューのアイデアを書き殴っている）

トム（大興奮しながらホワイトボードに『冷たいたい焼き』と書き込む）

「さあ魚住！ついに俺たちの店に革命が起きるぞ！ついに！ついに！ファニーな新作が爆誕する！」

魚住（不安げに）

「またですか……。前回のカレーたい焼きはスパイスが強すぎて、店の中が香辛

料まみれになりましたよね？お客さん、
涙目でしたよ？」

トム（キラキラした目で）

「だが、今度は違う！熱くない！冷たい！
冷たいんだよ、魚住！その名も——バニ
ラアイスたい焼き！」

魚住（驚愕）

「えっ、たい焼きなのに冷たいんです
か！？焼くんですか？それとも……？」

トム（得意げに腕を組む）

「フッフッフ……秘密はパリパリ生地と
急速冷凍技術さ！アイスを包んだ生地を
絶妙な温度で仕上げることで、表面は香
ばしく、カリッと焼き上がる！だが、中
身はとろけるような冷たさを保ち、口
中でアイスクリームが踊るんだ！」

魚住（頭を抱える）

「まさかとは思いますが……、また大量の試作をやるパターンですよ？」

トム（親指を立てる）

「もちろんだとも！」

（魚住、ため息をつきながらも、結局試作に協力する）

第二幕：試作と苦難

シーン2：試作地獄

（厨房にて、トムと魚住が試行錯誤する。ホットプレートの上には、何度も失敗した生地が残骸が散乱している）

魚住（アイスが溶けて悲鳴）

「トム！アイスが全部溶けて流れてます！」

バナラアイスが鉄板の上で悲鳴をあげてる！」

トム（真剣な表情）

「ぐぬぬ……やはり通常のたい焼きの焼き方ではダメか……。生地焼き時間を短くして……くっ、また溶けた！」

（何度も失敗するが、ようやく完璧なバナラアイスたい焼きが完成）

トム（感動）

「魚住、見る！表面は黄金色に輝くサクサクの生地！かじれば薄い層がパリッと崩れ、その先にはひんやりクリーミーなバナラアイスが待っている！この温度差、この絶妙なハーモニー、まさにフアニーたい焼きの極みだ！」

魚住（へトへト）

「もう二度とアイスの実験はしません……」

第三幕：お客様のリアクション

シーン3：販売開始

（店内、客が次々とバニラアイスたい焼きを注文）

（お客様たちの興奮が最高潮に達し、店内の熱気がさらに高まる）

客7（感極まって崩れ落ちる）

「……これは……食の革命だ……！甘さと冷たさ、香ばしさとクリーミーさ……正反対の要素が、口の中でシンクロする……！」

客8（涙目でスマホを構える）

「ちょ、これライブ配信していいですか！？みんなに見せたい！この衝撃の味を伝えたい！」

（ライブ配信が始まり、コメント欄が爆速で流れる）

視聴者コメント

「え、なにこれ！？」

「冷たいの！？焼いたのに！？」

「見てるだけでよだれ出る……」

「場所どこ！？すぐ行く！！」

（店の外にはさらに行列ができ、近隣の商店街がざわつく）

通行人 1（興味津々）

「なんかやたら騒がしいけど、何売ってるの？」

通行人 2（興奮して）

「たい焼きなんだけど、中がバナライアイスなんだって！」

通行人 1

「は！？意味わかんないけど……めっちや気になる！」

（どンドン行列が伸び、店の前はパニツク状態に）

（そんな中、ひとりの母親が店にやってくる）

母親（焦った様子で）

「あの、すみません！このバニラアイス
たい焼き、まだありますか？」

魚住（バタバタしながら）

「はいっ！今ならギリギリ間に合います！」

母親（安堵して）

「よかった……。実は、家で子供が熱を出してて……でも食欲はあるみたいで、冷たいものなら食べたいって……」

（トムと魚住、少し驚くが、すぐに真剣な表情になる）

トム（優しく微笑む）

「お安い御用さ！特別に、一番冷たくて甘いヤツを用意するよ！」

（母親は深々と頭を下げ、たい焼きを受け取ると足早に帰っていく）

（トムと魚住、しばらくその背中を見送り、ふと顔を見合わせる）

魚住（しみじみと）

「……ファニーなたい焼きが、こんな形で役に立つこともあるんですね」

トム（満面の笑み）

「だからこそ、俺たちは作り続けるんだ！最高にファニーで、最高に美味いたい焼きをな！」

第四幕：元気になった子供

シーン4：翌日

（店内。母親が子供を連れて再来店。子供は元気になった様子）

母親（微笑みながら）

「昨日のバニラアイスたい焼きのおかげで、食欲が戻ったんです！今日は本人が直接、お礼を言いたって……」

子供（はにかみながら）

「おじちゃん、お姉ちゃん、たい焼きありがとう！すごくおいしかった！」

トム（満面の笑み）

「それは良かった！じゃあ、今日も特別な一匹を用意しよう！」

（トム、華麗な手つきでたい焼きを焼き上げる。子供は目を輝かせながらそれを受け取り、一口かじる）

子供（感動して）

「ひゃ〜！サクサクで冷たくて、おいしい！」

魚住（微笑みながら）

「また食べに来てね」

第五幕：子供、ブレイクダンスを披露

シーン5：エネルギー爆発

（店の前。食べ終えた子供が突然、動き出す）

子供（ノリノリで）

「なんか体が元気になってきた！」

（突然、子供がブレイクダンスを始める。

店の前にいた客や通行人が拍手喝采）

客 ▶

「えっ！？ すごい！」

客 B

「バニラアイスたい焼きの力でここまで
元気に！？」

トム（大笑いしながら）

「ハハハハ！ これぞファニーたい焼きパ
ワーだ！」

魚住（呆れつつも苦笑い）

「……うちの商品、大丈夫？」

（大爆笑とともにエンディングへ）